

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:小型動力ポンプ付積載車購入				
補助事業者名	宇都宮市長				
実施場所	宇都宮市平出町789番地(平石分団第10部) 宇都宮市平出町1502番地3(平石分団第11部) 宇都宮市幕田町697番地1(姿川分団第2部)				
補助事業の成果の目標	<p>本事業は,宇都宮市消防団の平石分団第10部,同第11部及び姿川分団第2部に配属されている小型動力ポンプ付積載車を更新するものである。宇都宮市の消防団は全26分団で構成されており,地域の災害対応に重要な役割を果たしている。</p> <p>現有車両の使用期間については,平石分団第11部においては19年,平石分団第10部及び姿川分団第2部においては20年が経過し,いずれも耐用年数を超過し,老朽化が進んでいる。地域住民の安全を守るためには,火災等発生時に故障等による出動不能は許されないため,現有車両を更新することで所要の消防力を維持し,市民の安全な生活環境を確保する。</p>				
補助事業の内容	小型動力ポンプ付積載車購入				
補助事業の始期及び終期	平成30年度				
事業費及び交付金額		30年度			計
	事業費	円 22,096,800	円	円	円 22,096,800
	交付金額	円 13,456,000	円	円	円 13,456,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 車両が,オートマチックになったことで,消防団員の疲労軽減と操作の利便性が図れた。また,四輪駆動になり雪道や凍結路,雨でぬかるんだ悪路もより安定した走行が可能になった。</p> <p>消防団員からの聞き取り調査でも,「最新の資機材になり操作性・安全性が向上した」との回答を得た。このことから老朽化した車両を更新したことにより,所要の消防力が維持され,市民の安全な生活環境が確保されたものと考ええる。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 積載車の車体に「H30防衛交付金」と記載。市ホームページに掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

平石10部



平石11部



姿川2部



事業評価書

補助事業名	教育文化施設：鬼怒中学校便所改修工事				
補助事業者名	宇都宮市長				
実施場所	宇都宮市平出町3764番地10				
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、鬼怒中学校北校舎の2階から4階までの便所を和式から洋式に改修するものである。</p> <p>鬼怒中学校の現校舎は、昭和56年に建築され、便所についてはそのほとんどが建築当時の和式のままとなっている。</p> <p>生活スタイルの変化で、慣れない和式で用を足せない生徒が増加し、保護者や教職員からも洋式化を要望する意見が多いため、本事業の実施により、教育環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 鬼怒中学校のトイレ洋式化率 : 20.0% 市内全中学校のトイレ洋式化率 : 38.7% (平成30年3月31日現在)</p>				
補助事業の内容	便所等改修工事 和式便器から洋式便器への更新30基				
補助事業の始期及び終期	平成30年度				
事業費及び交付金額		30年度			計
	事業費	22,046,040 円	円		22,046,040 円
	交付金額	17,000,000 円	円		17,000,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 9月に便所改修工事が完了し供用開始後、教職員や生徒等に対して聞き取り調査を行ったところ、「洋式化したことで使いやすさが向上し、また綺麗になって雰囲気が明るくなったため、使い心地がよくなった」「洋式化したことで使用する際の抵抗が少なくなり、使いやすくなった。また工事で綺麗になったことで、生徒も綺麗に使うよう意識が変わった」等の好評を得たことから、安全性・快適性が確保され、教育環境が向上したと判断できる。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①工事期間中に、防衛交付金事業である旨の看板を設置 ②「学校だより」及び市ホームページに交付金を活用した事業である旨を掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

男子トイレ 和式

着 手 前



写真区分：着手前

写真タイトル：着手前和式①

完 成



写真区分：完成写真

写真タイトル：

完成後和式①→洋式

事業評価書

補助事業名	教育文化施設:若松原中学校便所改修工事				
補助事業者名	宇都宮市長				
実施場所	宇都宮市若松原3丁目19番27号				
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、若松原中学校北校舎の1階から3階までの便所を和式から洋式に改修するものである。</p> <p>若松原中学校の現校舎は、昭和57年に建築され、便所についてはそのほとんどが建築当時の和式のままとなっている。</p> <p>生活スタイルの変化で、慣れない和式で用を足せない生徒が増加し、保護者や教職員からも洋式化を要望する意見が多いため、本事業の実施により、教育環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 若松原中学校のトイレ洋式化率 : 18.6% 市内全中学校のトイレ洋式化率 : 38.7% (平成30年3月31日現在)</p>				
補助事業の内容	便所等改修工事 和式便器から洋式便器への更新30基				
補助事業の始期及び終期	平成30年度				
事業費及び交付金額		30年度			計
	事業費	22,280,400 円	円		22,280,400 円
	交付金額	17,000,000 円	円		17,000,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 9月に便所改修工事が完了し供用開始後、教職員や生徒等に対して聞き取り調査を行ったところ、「洋式化したことで使いやすさが向上し、また綺麗になって雰囲気が明るくなったため、使い心地がよくなった」「洋式化したことで使用する際の抵抗が少なくなり、使いやすくなった。また工事で綺麗になったことで、生徒も綺麗に使うよう意識が変わった」等の好評を得たことから、安全性・快適性が確保され、教育環境が向上したと判断できる。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①工事期間中に、防衛交付金事業である旨の看板を設置 ②「学校だより」及び市ホームページに交付金を活用した事業である旨を掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

男子トイレ全景

着 手 前



写真区分：着手前

写真タイトル：着手前全景②

完 成



写真区分：完成写真

写真タイトル：完成後全景